

# 中学校における生成AI活用リーフレット

## 1 目的

生成AI（例：Copilot, Geminiなど）の教育現場での活用にあたり、児童生徒の情報活用能力の育成と、安心・安全な学びの保障を両立するための基本的な考え方と留意点を示す。



## 2 基本方針

- 生成AIは、児童生徒の思考力・表現力・創造力を高めるツールとして活用できる。
- 一方で、誤情報や著作権、個人情報取り扱いなどのリスクもあるため、適切な指導とルールの下での活用が必要。
- 教職員自身が生成AIの特性を理解し、指導に活かすことが重要。



## 3 活用の原則

- 1.目的を明確にすること  
学習活動のねらいに応じて、生成AIを「何のために」、「どのように」使うかを明確にする。
- 2.児童生徒の主体的な学びを支援すること  
単なる答えの取得ではなく、思考の補助やアイデアの発展に活用する。
- 3.情報モラル・メディアリテラシーと一体で指導すること  
AIの限界やリスクを理解させ、適切な使い方を指導する。
- 4.個人情報や機微な情報を入力しないこと  
実名、住所、学校名、顔写真、成績情報などの入力禁止。
- 5.県域教育用アカウントでログインして、使用する。

## 4 教職員の役割

- 生成AIの活用に関する研修を受け、校内での活用方針を共有する。
- 授業での活用にあたっては、児童生徒の発達段階に応じた指導を行う。
- 活用状況や課題を記録し、校内外で共有・改善を図る。



## 5 中学校では事前に

- 利用にあたってのルールやマナーを生徒と共有し、責任ある使い方を促すこと。
- 出力された情報の信頼性を自ら判断する力を育てるよう指導すること。

## 6 指導のポイント

- 教科ごとの活用場面を明確にし、目的に応じた使い方をすること。
- 他者の著作物や写真や映像等を無断で使用しない等、著作権・肖像権に関する教育と併せて指導すること。
- 生成AIに依存せず、自分の考えを持つことの重要性を繰り返し伝えること。



## 7 参考動画

CopilotとGeminiについて、初歩的な使用方法を解説した動画を作成しました。  
(YouTubeに限定公開でアップしてあります。)

Copilot  
(教師用)



Gemini  
(教師用)



Gemini  
(児童・生徒用)



- 情報化社会の新たな問題を考えるための教材  
(文部科学省)



- 上手にネットと付き合おう！  
安心・安全なインターネット  
利用ガイド（総務省）

